

不適切ひも付け 293 団体

マイナ保険証 手順に問題4割

加藤勝信厚生労働相は四日の記者会見で、マイナンバーカードと一体の「マイナ保険証」に別人の医療情報がひも付けられる問題について、「不適切だ」と発表した。住所を照合しないなど正しい手順を踏んでいたが、問題があつた。問題があつた団体は全体の四割近くを占めた。厚労省は、実際に誤登録となつた事例の有無を七月末までに自主点検するよう求めた。

加藤氏は、「一四九十三団体とは別に一千十団体が、正

確な作業だったかどうか確認できない部分があつたと明瞭化した。不適切だった団体と合計すると四割近くで問題があり、正しい手順を踏んでいた団体は六割強にとどまった。加藤氏は「必ずしも十分な周知徹底がされていなかつた」と述べ、不備を認めた。

五日には衆院の特別委員会でマイナンバーに関する閉会中審査を開く日程で調整中。厚労省は登録の際、氏名、生年月日、性別、住所の確認を求めていた。不適切と判断された団体は多くが住所を照合していなかつたとみられる。

マイナ名称変更 「検討してない」

河野博一官房長官

これまでの厚労省の集計で、マイナ保険証が本格運用した二〇一二年十月以後、個人情報のひも付けは約七千四百件確認されている。うち十件では、実際に医療機関などで閲覧に至っている。照合する情報が少ないと、同姓同名などの場合に誤登録につながる。

河野太郎デジタル相や加藤氏らを追及する方針だ。与野党は参院でも二十六日に

正しい方法で登録作業をしているかいかを六月末までに自主点検するよう通知していた。

岸田文雄首相は六月、力強い取扱者向けサイトで開覧できる二十九項目の登録方法とデータ誤りがないかどうかを総点検するよう指示していた。

岸田文雄首相は六月、力強い取扱者向けサイトで開覧できる二十九項目の登録方法とデータ誤りがないかどうかを総点検するよう指示していた。

河野氏は「日、二〇一二六年中に実施するマイナンバーのデザイン変更を念頭に『次の更新でマイナンバーといふ名前をやめた方がいいのではないか』と述べた。

河野氏は、マイナンバーの名称変更を否定した。「あくまで個人的な見解を述べたものだ。政府として名称変更を検討しているものではない」と語った。

松野氏は、マイナカードの自主返納が相次ぐ現状に

向けて安全性とメリットに理解を得ていいくことが重要だと強調。政府全体でトラブルの総点検と再発防止策を進める」と説明した。

河野氏は「日、二〇一二六年中に実施するマイナンバーのデザイン変更を念頭に『次の更新でマイナンバーといふ名前をやめた方がいいのではないか』と述べた。